

「辛い味になる」

キャベツの仲間には、ワサビやダイコンがいます。からしの材料になるセイヨウカラシナも同じ仲間です。アブラナ科の植物は、みんな辛い成分を持っています。そのため、キャベツはもともと「虫たちにとって食べにくい植物」なのです。

しかし、一部のアオムシたちは、そんな辛さを気にせずに葉を食べてしまいます。

※アオムシとは、葉を食べるチョウやガの（みどり色の）よう虫をまとめた呼び方です。

「アオムシの天敵を呼んで、 やっつけてもらおう」

キャベツの葉を食べるアオムシたちにも天敵はたくさんいます。その中の「寄生バチ」は、キャベツのヒーローです。この寄生バチは、アオムシの体に卵を産み、アオムシの体を食べて成長するというハチの仲間です。モンシロチョウのよう虫に食べられたときと、コナガのよう虫に食べられたときでは、キャベツが呼ぶ寄生バチの種類がちがいます。キャベツは自分を食べてしまう相手の天敵を選んで、助けを求めることができるのです。

【おまけ】 キャベツはどうして丸くなるの？

1枚の葉を見た時、外側の方がたくさん光があたります。すると、光が当たりにくい葉の内側よりも早く大きくなります。そのため、葉は内側に向かって丸くなるのです。ちなみに、キャベツの一番外側の葉は丸くはなりません。

キャベツが丸くなった理由は、かんそうから身を守るためや、寒さから葉と花の身を守るためなどが考えられています。



もしかしたら、まだ発見されていない「身の守り方」があるかもしれません。「予想」して楽しんでみましょう！